

令和6年度

第2回草津市情報化推進計画策定委員会 会議録

■日時:

令和6年10月22日(木) 10時00分～11時00分

■場所:

草津市役所502会議室(5階) (WEB会議)

■出席委員:

石田委員、榎本委員、大岡委員、小郷原委員、鎌田委員、西原委員、西村委員、藤本委員

■欠席委員:

無し

■事務局:

総合政策部:北相模理事、吉田DX戦略特別推進員

経営戦略課:岸課長、澤係長、石本主査

■傍聴者:

なし

1. 開会

- ・委員8名の出席を確認
- ・北相模理事あいさつ

2. 議事

西原委員長が議長として議事進行

(1) 草津市 DX 推進計画(案)について(資料1~3)

事務局から

【事務局】

- ・資料1~3に沿って策定方針を説明。

【委員】

推進体制の見直しについて、体制図にある外部人材の活用について具体的な説明をいただきたい。

【事務局】

推進体制図の DX 戦略特別推進員については、ICT の専門的な知識を持っている外部人材を草津市の特別職として登用して様々な施策に対してアドバイスを受けている。
草津市 DX 推進本部会議にもアドバイザーとして参加いただき、市の施策を進めていきたいと考えている。

【委員】

職員へのアンケートの結果をもとに、DX 推進にあたっては、トランスフォーメーションの促進が必要不可欠との記載があるが、具体的な説明をいただきたい。

【事務局】

DX を D のデジタルの要素と X のトランスフォーメーションの要素でみたときに、デジタル化のようなシステムを導入はある程度出来ているが、トランスフォーメーションとしてデジタル化に伴い現在の業務を見直す部分、システムを単純に導入するのではなく、導入にあたり現在の業務をどのようにスリム化するか、より市民の方に便利なサービスとして提供できるかの検討が進まず、職員から課題としてあがってきている。この業務を見直す部分をトランスフォーメーションの

促進という表記で記載をしている。

【委員】

滋賀県でも DX 推進戦略の改定を進めている。DX はデジタルを使った変革でこれまでの業務のやり方を大幅に変える、一部の所属で便利にしたものを全ての手続きで便利にしていくことだと考えており、草津市でも検討いただければと思う。市民向けのアプリについては、利用者目線で使いやすいアプリを作ること、広報等を活用して正しく市民に周知することの配慮をいただければ良いと考えている。

【事務局】

いただいた意見を参考に今後の施策に活かしていきたい。

【委員】

市の公式LINEを活用して別の電子申請サービスへ遷移して入力するかたちは、一つのアプリで各種の手続きが完了するようになれば使いやすくなると考えている。

【事務局】

技術的な内容もあり対応の確約は難しいが、全ての手続きがより簡単に出来るような取組みについて引き続き検討を進めていきたい。

【委員長】

入力の際に別ページが表示されるとデジタルに慣れていない方には使いにくいと思われるので非常に重要な指摘だとの印象を受けた。

【委員】

草津市 DX 戦略調査の部分で、全所属との記載では市役所庁内の職員に向けたアンケート調査であることがわかりにくい。

あとデジタルデバイス対策としてスマホ講習会を順次実施されるとのことだが、単に操作方法を教えるだけではなく、デジタルデバイスを安全に活用するためのリテラシー教育を今後積極的に進めていただきたい。

子どもの例で、学校でタブレットが導入されたことでデジタル技術に触れる機会は多くあり、小学生でも上手に操作することはできるが、ネットの検索結果の情報を見極める力をもっと育む必要があると感じている。

情報の取り扱い方法などプライバシー保護の重要性などをもっと学ぶ機会を増やすなど、講習会等を実施される際は、いろんな内容を盛り込んでいただければ良いと考えている。

【事務局】

全所属の記載の部分は、改めて検討させていただく。リテラシーの部分は学校等での教育もあるが、大人も含めて情報リテラシーの向上は必要な部分と考えるので、講習会の内容については検討して取り組んでいきたい。

【委員長】

動画を使った啓発なども良いと考えている。

【委員】

市の公式LINEを今回資料で初めて知って登録をした。草津市の人口の約十分の一が登録されているようだが、周知方法はどの様にしているのか。あとトランスフォーメーションについて、これまで 20 年ほど企業で業務改善の提案をやってきたが、その際にお伝えしていたのは、やはりツールを投入するというよりも今の業務内容を整理したうえで、無駄な部分のスリム化と仕事のやり方を均一にしてシステム化することが一番大切だと考えている。

【事務局】

公式LINEの周知方法は広報くさつやホームページ、各市役所の窓口等での周知が基本だが、乳幼児検診の予約案内の際にもLINEでの申込が可能であることを説明することで利用者に登録をいただいている。一般的な周知方法について、まだ出来ていない部分もあると考えられるので、今後色々と検討していきたい。トランスフォーメーションについては、先ほどトランスフォーメーションの促進のところで業務見直しを中心に説明をしたが、市役所全体の組織風土を変革していく意味も含めて進めていきたいと考えている。

【委員長】

広報に関して乳幼児検診の話があったが、大学に通っている学生も草津市には多く住んでいるが、公式LINEを多分知らないのではという印象がある。

大学の学生からごみの分別や持ち込み予約、引っ越し時の手続きなどが分からないと伺っているので人が集まる場所に着目して広報をするなど検討いただきたい。

【委員】

国が 2025 年度末を目標に進めている自治体情報システムの標準化・共通化について、基幹系 20 業務の標準化とガバメントクラウドへの移行に対する草津市の対応を教えていただきたい。

【事務局】

自治体情報システムの標準化・共通化については重点施策として取り組みを進めている。草津

市としては県内8市で構成しているおうみ自治体クラウド協議会で業務システムを共同調達しており、他の7市と協力、システムベンダと協業をしながら、2025年度末にはガバメントクラウドに新たな標準準拠システムを移行稼働できるように対応を進めている。

【委員】

ガバメントクラウドへの移行は、非常に多くの自治体から困難であるということを知っている。全自治体がガバメントクラウドに移行できるよう力添えしたいと考えている。

【委員】

情報化の利用動向の ICT の動向について、利用時間や年代別の利用などの傾向が把握できて非常にいい資料だと思うが、次の情報セキュリティ 10 大脅威の内容が唐突に出てくるように感じている。趣旨を教えていただきたい。

【事務局】

主なメディアの利用時間として特にインターネットの平均利用時間が延びてきている反面、ICT を利用していくうえで重要な点となるセキュリティの部分に触れるためにこのように記載している。

【委員】

草津市 DX 推進計画の中でも重点取組項目としてセキュリティ対策の徹底が新設されているので、区切りを入れてICTの動向とセキュリティを分けていただけるとわかりやすい。

【委員長】

ICT の動向については個人に関する内容で、セキュリティは組織に関する内容となっているため、個人に関する情報セキュリティの10大脅威を持ってこないと繋がりが分りにくい印象を受ける。対応は事務局にお任せする。

【事務局】

記載方法について検討させていただく。

3. その他

(1) 次回の日程について

4. 閉会

以上。